

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月26日

計画の名称	名古屋港における総合的な高潮対策の推進（防災・安全）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	名古屋港管理組合											
計画の目標	津波・高潮からの防護による生命・財産の安全性の確保、被災の軽減を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	676	A	676	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	<p>【高潮】海岸保全施設の改良により、背後地の浸水面積を低減させる。</p> <p>【高潮】海岸保全施設の延長により、液状化対策が図られる延長の割合を算出する。 (進捗率) = (整備実施延長) / (液状化対策を実施する延長) (%)</p>	0%	14%	19%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・愛知県地域強靱化計画及び名古屋市地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A全て・H28dより重点計画と通常計画に切り分けを実施												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
海岸事業	A09-001	海岸	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	高潮	-	高潮対策事業(潮見ふ頭 、昭和ふ頭、築地・ガー デンふ頭)	護岸(改良)4,147m、陸間(改良):2扉	名古屋市						676		-	
												小計						676		
											合計						676			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
公正な評価に向け、幅広い見地から意見を得るため、令和3年1月14日に学識経験者で構成する「名古屋港管理組合公共事業評価委員会」を開催し、事後評価を取りまとめた。	令和2年度
	公表の方法
	名古屋港のホームページにおいて、事後評価を公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・潮見ふ頭地区で、地震・津波対策として増厚を行い、その区間の地震・津波に対する安全性が向上した。 ・昭和ふ頭地区で、地震・津波対策として増厚を行い、その区間の地震・津波に対する安全性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
高潮や地震津波からの防護による生命・財産の安全性の確保、被災の軽減を図るため、引き続き事業を実施し、防護機能の向上を図るとともに、施設の適切な管理を行っていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	19%
	最終実績値	13%
海岸保全施設の延長により、液状化対策が図られる延長の割合 潮見ふ頭地区の地盤改良で、現場不一致により防潮扉の対策を先行させたため、防潮壁の対策が遅れることとなった。		

(図面) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	名古屋港における総合的な高潮対策の推進 (防災・安全)	交付対象	名古屋港管理組合
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		



※ ■ は陸閘の改良